

kirabito vol.7

活躍している人は輝いています。そんなキラキラする人を紹介。



三宅彩香さんは、豊岡町の閑静な住宅街にある「あやか助産院」で産前産後の悩みを抱える女性を懸命にサポートしている助産師だ。

産後の母親の身体は、出産で疲弊し、回復に相応の時間が掛かるが、いとまなく子どもとの24時間の生活が始まる。

赤ちゃんの可愛い寝顔に癒され、育児の幸せを感じながらも「母乳が出ない」「泣き止まない」といった悩みを抱える母親は少なくない。

核家族化で頼りにできる人がそばにいなかったり、頼りにできるはずの親族の理解や支援が得られなかったりする。

同院では、そんな悩みに応えるため、育児相談や産後ケアを行い、疲れた母親を労り、寄り添うことに力を注ぐ。

また、新人助産師時代からお世話になっているという土居町北野のマミー助産院では、年間約15件のお産にも携わる。

自身の双子を含む4人の育児に奮闘しながら、ボランティア

活動では多胎育児サークル「ツインチェリース」の代表を務め、ピアサポーターとして母親やその家族の支援活動を行う。

出産や育児で不安定な母親の力強い味方であり続けるそんな活動と活躍が認められ、昨年11月、愛媛県の助産師では初の母子保健奨励賞を授章。秋篠宮皇嗣妃殿下からご接見を賜った。

三宅さんは、育児について「どんなママも一生懸命で、頑張っているんです。失敗しても肩の力を抜いていいんです。それを

全てのママに伝えたい」と話す。そして、子育ての秘訣は夫婦で話し合うこと。近年、男性の育児休暇が注目されているが、「子どもと向き合い、わずかな時間でも子どもの世話を一人でしてみても、子育ての大変さに共感し、子どもの成長を共に喜んでもらいたい」。

世の中のママが本当に必要としていることを夫婦で共有し、解決できたとき、ママや家族の本当の素敵な笑顔が見られるのかもわからない。

ママが笑顔なら
みんなが幸せになれる



あやか助産院 助産師

三宅 彩香 Ayaka Miyake

豊岡町五良野

1982年上柏町生まれ。三島高校卒業後、看護大学へ進学。岐阜県羽島市民病院、四国中央病院、HITO病院での勤務経験を持つ。2020年にあやか助産院を開業。4児の母親。四国中央市のママの味方。